

はじめに——最悪の社会統計

11

1 社会統計の重要性

21

社会統計の台頭

社会問題をつくりだす

数字オンチの受け手としての一般大衆

組織慣行と公式統計

統計を社会的産物として考える

本書の構想

2 ソフトファクト——おかしい統計の根源

47

当て推量

定義

計測

標本抽出

よい統計の特徴

3 突然変異統計——数字をおかしくする方法

87

一般化——初歩的な種類の誤り

疑わしい定義 不適当な計測 まずい標本

変換——統計の意味を変える

混乱——複雑な統計をねじ曲げる

複合的な誤り——おかしい統計の連鎖をつくりだす

突然変異統計の根源

4 リンゴとオレンジ——不適切な比較 127

異なる時点の比較

計測方法の変化 変わらない尺度 予測

異なる場所の比較

集団間の比較

社会問題の比較

比較の論理

5 スタット・ウォーズ——社会統計をめぐる紛争 165

特定の数字をめぐって論争する——100万人が行進したのか

データ収集をめぐって論争する——国勢調査はどのように人口を数えるか

統計と争点

統計の権威を主張する

スタット・ウォーズを解釈する

6 社会統計を考える——批判的アプローチ

203

素朴な人々

シニカルな人々

批判的な人々

避けられないものに立ち向かう

謝辞 219

訳者あとがき 221

註 236

索引 240

